

学校経営方針と学校教育目標

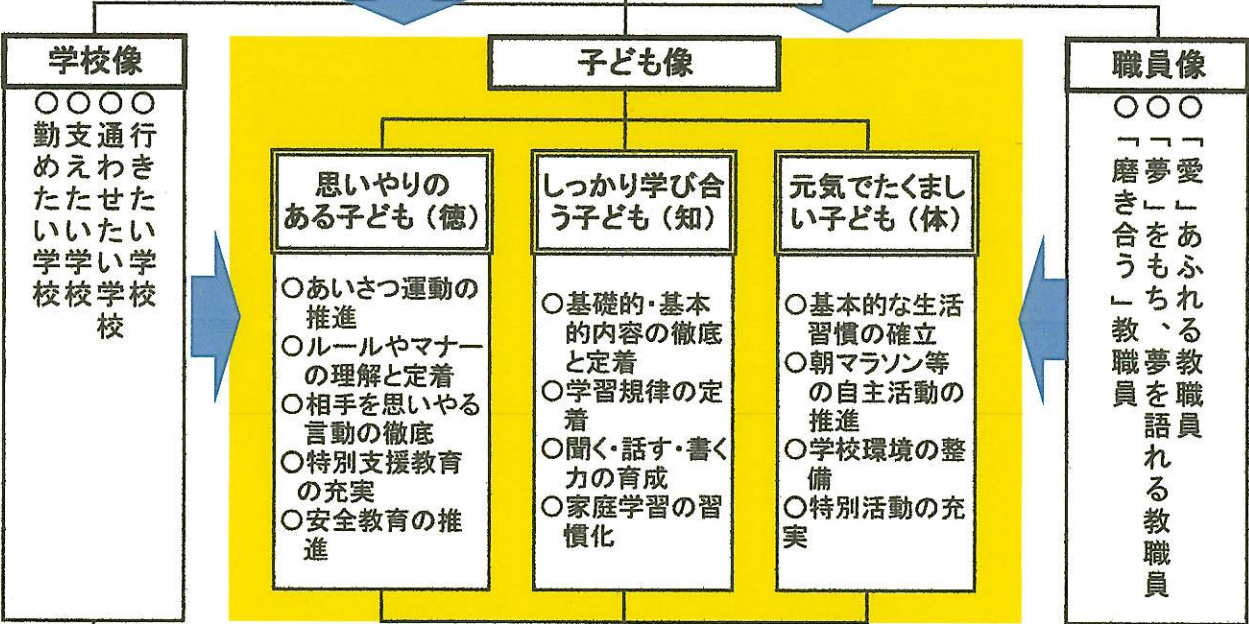
【ランドデザイン】

学校経営方針

- 長崎市の第五次総合計画・教育方針及び本校の児童の実態を踏まえて、確かな学力、豊かな人間性、健康と体力の3要素からなる、児童の「生きる力」を育むことをめざす。とりわけ、「真善美を感じ、それを追求しようとする豊かな心」と「確かな学力をもち、自らを律し、他と協調して主体的に生きようとするたくましさ」を身に付けた児童の育成を本校教育の中核に据える。
- 保健・安全、施設や設備の管理、迅速で正確な事務処理等、また家庭や地域の教育力を取り込んだ総合的な学校力の向上をめざす。

学校教育目標

豊かな心を育み、主体的に学ぶたくましい茂木っ子の育成
～気づき、考え、実行する 茂木っ子をめざして～



家庭・地域・関係機関

- 『家庭とつながる』**

 - 家庭状況を把握する
 - 家庭のニーズに耳を傾ける
 - 家庭に情報を発信する

『地域とつながる』

 - 地域の声に耳を傾ける
 - 地域へ発信する
 - 地域行事へ参加する
 - 幼・保・小・中ともに連携する

『関係機関とつながる』

 - 長崎市の教育施策を知る
 - 長崎市教職員の自覚を持つ
 - 関係機関と連携する
 - 市教委・関係機関を活用する

『 チーム茂木 「つながる」 』

～ 職員同士・子どもと・家庭と・地域と・関係機関と～

令和6年度 学校経営方針と学校教育目標

令和6年4月1日
長崎市立茂木小学校
校長 北村 和則

今年度スローガン

「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を創ろう

重点努力事項

「思いやりのある子」(=「豊かな心を育み」)

ふるさと「茂木」を愛し、思いやりがあり、仲良く助け合う礼儀正しい子どもを育てるために

◎あいさつ運動の推進

・ワンストップあいさつの励行。(R5から継続。1・2・3あいさつ)。

◎ルールやマナーを身に付けさせ、よさを認め、一人一人の定着を図る。

・ルールやマナーをきちんと理解させ、教えることで、定着させる。

⇒特別教室移動の行き帰り、廊下歩行、はきものそろえ

・よさを認め合う場を設け、継続し、確認することで、定着させる。

◎相手を思いやる言動の指導の徹底(反省から)

・時と場、相手に応じた正しい言葉遣いと振る舞いを日常化する。

⇒ふわふわことば、〇〇さん(さん付け)※R5から継続。

・相手の立場に立って考え、いじめを許さない風土の醸成をする。いじめは犯罪である。

※◎3つは、だれも見えていないところでもできるレベルへ。(昨年度反省から)

1分前着席、3つのかまえは共通理解・共通実践(R5.5.25校内研修より)

○年間をとおした「人権・平和の学級目標」を立て、平和集会、人権集会、3学期最後に振り返り、反省を行う。

○けじめのある生活の習慣化

・「はい」という返事をはじめ、反応できる力を育成する。

※黙って挙手し、指名されたら「はい」の返事をする。(R5校内研修反省)

◎読書活動の充実

・読書活動の時間の確保と内容の充実(学年にあった内容の本)を図る。

◎特別支援教育の充実

・校内支援委員会を通して、児童理解を深める。→「よってたかって」のために。

・すべての学級で「ユニバーサルデザイン」化を推進する(「もぎの木タイム」、もぎトーク、「よくわかる茂木小」、レディセット(個に応じた指導))。共通実践を!

○防災・安全指導の徹底

・廊下や道路の正しい歩き方、自転車の正しい乗り方(ヘルメット含)の定着を図る。

・施設設備の安全点検と早めの対応に心がける。

・「防災教育プログラム」を活用した防災教育に取り組む。

「しっかり学び合う子」(=「主体的に学ぶ」)

人の話をよく聞き、自分でしっかり考え、工夫する子どもを育てるために

◎基礎的・基本的内容の徹底と確かな学力の定着

・目標を明確にもち、目標達成の姿をイメージして指導する。

- ※1月・2～3月に実施した算数標準学力調査の解答指導により、全学年算数科向上の結果。慣れるとともに自信をつけさせる！一人1問向上を達成したい。させたい。5,6年は市教委作成の「自治体ワークブック」にも取り組む。⇒自己肯定感、自尊感情を向上させたい。
- 少人数指導、TTの推進・充実（年間280時間は確保）
 - ・算数科を中心に、少人数指導/TTを実施し、学力の定着・向上を図る。
 - ・習熟差や個に応じた指導を推進する。
 - ICT機器の活用
 - ・情報活用能力の向上を図る。（GIGAスクール構想、プログラミング教育の推進）
 - ◎学習規律の定着と学び方の習得
 - ・授業に集中して取り組ませる。
 - ・全校で共通化した学習規律を定着させる。
「茂木っ子 学習のスタンダード」「よくわかる茂木小」の活用・定着
 - ◎表現力を豊かにする指導法の工夫
 - ・表現する機会、方法、質を豊かにする。
 - ・ICT機器を表現する一つのツールとして活用。
 - ①主体的学び 問題意識をもち、自分の考えを進んで表現しようとする。
 - ②対話的な学び 自分や友達の考えを意欲的に伝え合う。
 - ③深い学び 他者の意見と自分の意見を比較し、自分の考えをより深めようとする。
 - ・話型について、「もぎトーク」との関連を図る。
 - ・クロムブックの活用。毎日何らかの形で活用する。R5は90%達成。継続を！
 - ・キュービナの活用 継続活用。月200円（年間2,400円）保護者負担
WAU率：達成目標80%（98%達成） DAU率：達成目標30%（65%達成）
平均回答数：達成目標300問（544問達成）
 - ◎家庭学習の習慣化（わかる授業を目指す）
 - ・「家庭学習の手引き」「よくわかる茂木小」の充実・活用を図る。
 - ・家庭での学習内容が定着しているかの評価・指導を確実に行う。（家庭と連携）
 - ・高学年：自主学習への転換（宿題でなく、自ら計画し実践）

「元気でたくましい子」（＝「たくましい」）

明るく健康的で、我慢強く最後までやりぬく子どもを育てるために

- ◎基本的生活習慣の確立
 - ・「あはは運動」の推進を図る（生活リズムを定着させる）。（学校保健委員会）
 - ・家庭と連携し、基本的生活習慣の確立を図る。
 - ・メディアとのかかわり方をしっかりととらえる。今年度PTA講演授業計画
- ◎特別活動の充実(主体性を発揮する場の保証)と年間を通じた様々な自主的な活動の推進
 - ・青少年赤十字(JRC)の活動を生かす。「気づき、考え、実行する茂木っ子」
 - ・児童会で決める今年のテーマの具体化を図り、実践する。
 - ・体力テスト結果を改善する体育授業や遊びの工夫や継続した取り組み。
 - ・委員会やVS活動・係活動等、気づいたことに、自主的に工夫して取り組む。
- 子どもと教師との共働による学校環境の整備
 - ・勤労意欲を高め、清掃活動指導の徹底を図る。
 - ・静かに黙々と様々な活動（授業・そうじ・集会等）に取り組む。（黙動）伝統に！

徹底継続で習慣化を図り、生きて働く力を育む

学校経営にあたって

<安心して学ぶ心が育つ学校>

- ・みんなが「今日も楽しかった。明日も学校が楽しみ」と思える学校
- ・（児童）相手の立場に立って考え、いじめを許さない風土の醸成（みんなが）
- ・（教職員）相手の立場に立って考え、ハラスメントを許さない風土の醸成（みんなが）
- ・一人任せにせず、チームとして対応する、体制づくり
- ・互いに信頼し合い、何でも言い合える風通しのよい職員室

<研究と実践の両輪>

- ・「児童の夢・希望」「自己肯定感・自尊感情を高める」「保護者や地域の要望」に応える教育活動
- ・日々の教育活動の充実した実践と、その裏付けとなる研究の推進

<仕事に誇りと喜びをもつ>

- ・長崎市の宝である子どもたちを育てることを担っている誇りと責任の自覚
- ・自らの人間性と教師としての指導力・資質の向上をめざす。

○ 教育の視点

- ・一人一人の子どもはかけがえのない存在
- ・学校は子どものために存在する。
- ・教育における最大の課題は「生きる力（確かな学力、豊かな心、健康・体力）」の育成
- ・教師は子どもにとって、最大の人的環境

○ 「あゆみ」続ける教職員に

- ・㊦ 「愛」あふれる教職員でありたい。
- ・㊧ 「夢」をもち、夢を語れる教職員でありたい。
- ・㊨ 「磨き合う」教職員でありたい。

○ 本気の働き方改革を（働きやすく居場所があり、効率的に）『和衷協同すれば、山も動く』

- ・わかる授業づくりで、学びに喜びをもつ子ども、その喜びが教職員の喜びにつながる好循環をつくる。学習・運動・遊びなどそれぞれに活躍の場と居場所があり、有能感や自己肯定感が高まる。そのことで、専門性を高め、実践で示す、喜びいっぱいの教職員となる。

※前年度末に実施した算数標準学力調査の取組により、結果の向上。結果を出させることで自信をつけさせる！（自己肯定感の向上）

- ・効率化と分かる授業づくりとは相いれないという考えを捨てる。
- ・学校行事の見直しと精選を図る。運動会は、半日にしたほうが、子どもの負担が少なく教育効果も高い、家庭や地域の評価も高いなどがあげられたので、引き続き半日で取り組む。効果がるとの結果で「家庭訪問」の実施。地域との連携（校外指導に変える）。
- ・効率化を図ることで、退庁時間を早くする。具体的には、7：00以降の登庁、18：00までの退庁をめざす。
- ・週1回の定時退庁日は守るよう心がける。今年度中に、週2回の定時退庁日を設定することをめざす。**※金曜日以外に個人設定をしてください。週で変動あり。**
- ・思い切って「これはしない」と削減することも大切。自分の中で慣例を作らず、時間内で、できる仕事をする。
- ・働き方改革には、先生方の意見と考えが必要。ボトムアップの体制づくりをします。

節度を持ち、「今日も楽しかった。明日も楽しみ」と思える職場づくりをめざす。

コミュニケーションをとって、お互いに深い信頼関係を築き、協働する職場をめざす。